

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月22日

事業所名:smile

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	0 (0%)	7 (77.8%)	2 (22.2%)		新しい居室を使い、一部屋当たりの人数を少なくしていく。 トイレは増築工事により、増設予定。
	2 職員の配置数は適切であるか	1 (11.1%)	7 (77.8%)	1 (11.1%)	ミーティングにて時間による職員のフォロー体制を確認している	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3 (33.3%)	6 (66.7%)	0 (0%)		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3 (33.3%)	6 (66.7%)	0 (0%)	チーム間で毎日の打ち合わせで確認を行っている。 ユニット会議、職員会議等で多くの職員が意見を言いやすいよう配慮している。	計画通りに会議をや打ち合わせを実行できるように計画的に業務を行っていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3 (33.3%)	5 (55.6%)	1 (11.1%)		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2 (22.2%)	4 (44.4%)	3 (33.3%)		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1 (11.1%)	5 (55.6%)	3 (33.3%)		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6 (66.7%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)		内部研修を計画的に行うことと、オンライン研修などを検討していく。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)		
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4 (44.4%)	5 (55.6%)	0 (0%)		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	長期休みは課題等を事前に順次することで対応している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4 (44.4%)	5 (55.6%)	0 (0%)	日案や月案を活用している	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5 (55.6%)	4 (44.4%)	0 (0%)	個別にプリント等の課題を用意している	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8 (88.9%)	1 (11.1%)	0 (0%)	各チームごとに月2回ユニット会議を行っている。また、個別支援計画策定会議を開催して計画を作成している。	
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	各チームごとにミーティングを行っている。 朝に全体ミーティング、昼にチーム別会議を行っている。		

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	16	5 (55.6%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)	退勤時間が異なる為、翌日の打ち合わせで共有を行う。 (パート職員が16:30まで)	
	17	8 (88.9%)	1 (11.1%)	0 (0%)	毎日記録の時間を設けて行っている。	
	18	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	定期的に保護者面談を行っている。	
	19	2 (22.2%)	7 (77.8%)	0 (0%)		ガイドラインの周知を研修等で学ぶ機会があると良い。
関係機関や保護者との連携	20	6 (66.7%)	3 (33.3%)	0	サービス管理責任者、チームリーダー、担当者等が参加する。	
	21	6 (66.7%)	3 (33.3%)	0	随時情報共有している。(主に送迎時に行っている。) サービス担当者会議や学校へ直接話し合いに行く。	
	22	1 (11.1%)	6 (66.7%)	2 (22.2%)		対象児がいらないが必要があれば連携していく。
	23	3 (33.3%)	5 (55.6%)	1 (11.1%)	各施設へ訪問して情報共有を行うことで同意を得てから行う。	
	24	5 (55.6%)	4 (44.4%)	0	卒業後も同法人の生活介護等を利用することも多く、スムーズに報告できている。	
	25	1 (11.1%)	6 (66.7%)	2 (22.2%)		
	26	0 (0%)	2 (22.2%)	7 (77.8%)		新型コロナウイルスの感染状況を踏まえてイベントを計画していく。
	27	0 (0%)	2 (22.2%)	7 (77.8%)		
	28	8 (88.9%)	1 (11.1%)	0	連絡帳や送迎時に情報共有を行っている。	
29	0 (0%)	5 (55.6%)	4 (44.4%)		ペアレントトレーニングの指導者が不足している。	
保護	30	4 (44.4%)	5 (55.6%)	0	契約時に詳しく説明している。	
	31	5 (55.6%)	4 (44.4%)	0	送迎や受け渡し、モニタリングを通して話が出来る機会を設けている。	
	32	1 (11.1%)	4 (44.4%)	4 (44.4%)	保護者会や行事を計画していたが、新型コロナウイルスの影響により未実施となってしまった。	新型コロナウイルスの感染状況を踏まえてイベントを計画していく。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5 (55.6%)	4 (44.4%)	0	クレームに対しては迅速に報告・対応して職員会議の項目の中で報告して共通理解を行う。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1 (11.1%)	1 (11.1%)	7 (77.8%)		年に一度だけでは不足なので次年度より発行の回数を増やすようにする。
	35	個人情報に十分注意しているか	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	書類全てに対し外部への持ち出し禁止としている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7 (77.8%)	1 (11.1%)	0	送迎時の申し送りと利用日付は連絡帳を活用する。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1 (11.1%)	1 (11.1%)	7 (77.8%)		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7 (77.8%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	緊急時のマニュアルや感染症のマニュアルを用意している。対象となる時期を目安に研修を実施している。	まだ不十分である。職員に対しては周知しているが保護者に対しては説明不足である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5 (55.6%)	4 (44.4%)	0 (0%)	年2回、訓練を行っている。	火災の他、水害や地震等に対応する訓練も必要。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	年2回、内部研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	身体拘束について月1回モニタリング等の会議を行っている。保護者様に身体拘束の同意書もらっている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7 (77.8%)	2 (22.2%)	0 (0%)	一覧表を作成して表示しておやつ・給食時の準備に十分気を付けている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8 (88.9%)	1 (11.1%)	0 (0%)	毎日の打ち合わせで報告しており、各チーム、職員全体には毎週会議にて報告する。	